

インターネット・SNSの利用について もう一度家族で確認をしましょう。

4月に情報モラル教室で確認しましたが、インターネットやSNSの使い方について、まだまだ不十分な部分が見られます。最近では、女子小学生がSNSで知り合った男性に誘拐される事件も起きています。インターネットは便利ではありますが、安易な気持ちで使い方を間違えると取り返しのつかないことになります。今後もトラブルを起こしたり巻き込まれたりしないように、曲中SNSルールと合わせて次の事を家族でもう一度確認してほしいと思います。

①インターネットに発信した情報は、誰が見ているか分かりません。

ネット上に出した情報（書き込み、動画、写真など）を見ているのは友だちだけではありません。内容をコピーされて別の目的に使われる危険性があります。

②投稿した内容から個人が特定されることもあります。

投稿した複数の断片的な情報を組み合わせて、住んでいる場所、通学している学校などが分かり、個人が特定されることもあります。見知らぬ人に自分の行動を知られ、ストーカー被害にあう危険性もあります。

③SNSなどインターネットに一度投稿した情報は、完全に消すことはできません。

顔写真や住所などの個人情報公開することは非常に危険です。投稿した内容によっては、自分の将来にとって取り返しのつかないリスクとなる場合があります。内容によっては、訴えられたり、就職や進学を断られたりするケースもあるということを情報モラル教室でも話されていました。「おもしろいから」「悪ふざけで」といった軽い気持ちでやった行為が自分の将来を台無しにしてしまわないよう十分気を付けなければなりません。

④個人の写真（動画）を許可なく広めたり、友だちに送ったりすると、損害賠償を請求されたり、逮捕されたりすることもあります。

・肖像権の侵害 ・プライバシーの侵害 ・名誉毀損 ・著作権 など

⑤インターネットは匿名ではありません。

インターネットは匿名ではありません。情報発信元の「アクセスログ」が残るため、どこで誰が書いたのか警察では特定することができます。家族に知られては困ることや危険なことはやめましょう。

再度、確認しますが、自分の写真や動画をアップすることにより、個人情報を特定されたりトラブルに巻き込まれたりする危険性があるということ。

同様に、他の人の写真や動画など、プライバシーに関わるものを勝手にネット上に公開したり、知人に転送して広めたりすることは、犯罪行為になる可能性があることを忘れてはいけません。

もし、違法な動画や画像を見たり、個人情報を公開してしまったり、SNSへの書き込みなどで悩んだりすることがあったら、必ず保護者や先生など、責任のある大人に相談してください。秘密にして隠したり自分で解決しようとしたりすると、さらに問題が大きくなる場合があります。

インターネットやSNSはとても便利ですが、危険な面もたくさんあります。そのことを理解した上で、ルールとマナーを守り安全に利用しましょう。